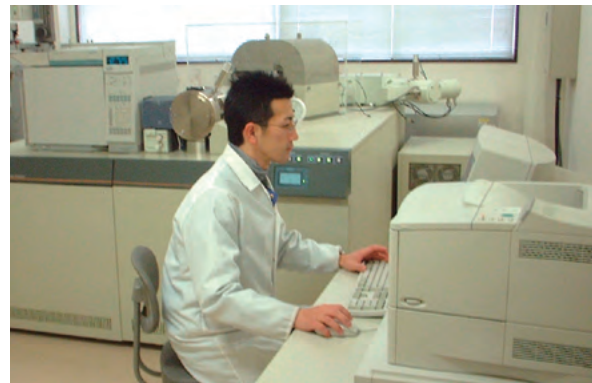


環境分析の精度を 飛躍的に高める 溶出試験用土壌標準物質を創出



本社分析風景

環境分野で地域社会に貢献する 環境総合コンサルタント会社

環境テクノスは、公害問題が社会を騒がしていた昭和48年に創業、環境分析を手掛ける公害研究所としてスタートした。以来、各種環境アセスメントや生態系調査、作業環境測定や、環境設備の設計・施工・管理などへ事業を展開、環境総合コンサルタント会社として事業領域を拡大してきた企業である。最近では、放射能、PM2.5などに関する技術開発、大学と連携した竹やプラスチック廃棄物の循環システムの研究など、世の中のニーズに合わせて、産学官連携しながら事業展開を図っている。顧客も関西から沖縄までの官公庁や地元九州の企業の工場など、官民を問わず幅広く展開している。

また当社は、中国の上海や大連に合弁会社を設立、工場・農業等からの排水、廃棄物、PM2.5などの大きな環境問題を抱える中国に環境ビジネスを拡大、また中国へ進出した日系企業の環境問題への対応などにもあたっている。

同社の会長である鶴田暁氏は、現在、北九州環境ビジネス推進会（KICS）の代表幹事、北九州市環境産業推進協議会の環境ビジネス部会長として、北九州市の環境関連産業の発展を側面からサポートしている。また同時に九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）の会長として、九州全域における環境関連産業の発展に貢献

している。

「テクノスさんなら大丈夫だね」と市内外の環境部局の人たちの言葉にもみられるように、環境分野において、高い信頼を得ている企業である。

自社の問題意識から生まれた 日本初の「溶出試験用土壌標準物質」

環境テクノスの卓越した技術力を垣間見ることができるものが日本初の「溶出試験用土壌標準物質」の開発である。“重さ”を測る基準分銅のように、環境分析においても、分析対象物質の含有量が明確でその値が保証された「環境標準物質」が必要になるが、以前は土壌の溶出試験用の組成型標準物質は存在していなかった。

土壌の溶出試験方法は、採取した土壌に純水を加え、6時間振とう（振る作業）したり、それをろ過したりと工程が長く複雑である。『ものさし』となるものが無い中で土壌の溶出試験を行っていた当時は、分析値のばらつきがでたり、その原因が分析者自体にあるのか分析機械・工程にあるのかなどの確認もできないような状態にあったという。

そこに問題意識を持ち、「分析精度を高め、顧客に提供するデータの信頼性を高めよう」と環境テクノスは、自ら標準物質の製造に取り組むことにしたという。

この標準物質は、自然界の土壌を採取し、これに特定の金属溶液を添加することにより、必要な濃度の標準物質を作製しようというものである。だが単に金属溶液を入れ攪拌するだけでは、溶出試験の結果が大きくばらつき、標準物質としての品質をクリアできない。同社は試行錯誤の上、土壌に金属溶液を添加した後に、“減圧、加圧、加熱処理”などを施し、均一な試料を作成する製法を開発、見事日本初、世界初の物質でもあるという溶出試験用土壌標準物質の開発に成功している。

開発したカドミウムや鉛などの重金属類、また、技術を応用して作成したダイオキシンや放射能測定用などの標準物質は、公益社団法人日本分析化学会を通じ、日本全国の同業者や研究機関また海外にも出荷され、環境分析の精度向上に貢献している。

人材育成が同社の技術力を支える

環境コンサルタント事業は、人材力が問われる事業であり、同社は創業以来、人材育成に熱心に取り組んできた。



代表取締役社長
鶴田 直 氏

2005年入社。
2014年に創業者である現会長より引継ぎ代表取締役社長に就任。「環境という分野において必要とされる価値ある情報を提供する」ことで、地域や社会に貢献することを基本理念とし、社員一丸となった経営を実践している。「お客様が何を求めているか、何に困っているか」を常に意識し、海外も含めた事業展開、人材育成に取り組んでいる。

現在では、博士1名、技術士7名の他、環境計量士や環境カウンセラー、ピオープ施工管理士などの資格を持った人材が多数在籍している。例えば難易度の高い技術士試験の受験にあたっては、社内研修会を開催、面接や論文試験などへの対応力を磨く機会を社員に提供するなど、会社をあげて社員の資格取得をサポートしている。こうした技術の研鑽に励む社風が、日本初の溶出試験用土壌標準物質の創出や顧客の高い信頼の源になっていることは想像に難くない。



研修風景（中国政府関係者）

企業概要	DATA
企業名	環境テクノス 株式会社
代表者	鶴田 直
所在地	北九州市戸畑区中原新町2-4
TEL	093-883-0150
FAX	093-883-0701
資本金	4,000万円
創業	1973年
従業員数	68名
事業内容	環境コンサルタント、測定・分析等
URL	http://www.kan-tec.co.jp

マーケティング
専門家の目

環境テクノスは、環境都市北九州を代表する環境関連会社の一つと言ってよいであろう。同社は、卓越した技術力を武器に環境総合コンサルタント会社に発展してきた企業である。そして、その技術力を象徴するのが日本初の溶出試験用土壌標準物質の創出であり、この試料は全国の同業者や研究機関における環境分析の精度向上に貢献している。



環境テクノス 株式会社

環境分析における“ものさし”
（溶出試験用土壌標準物質）の製造

